

2020年は
マスクの年
2021年は
ワクチンの年

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.354
2021(令和3)年 1月22日(金)発行



■ **はらまち九条の会** は、戦争放棄の憲法9条を守り、永久に「戦争をしない国・日本」であることを願って活動する自由な市民の会です。支持政党や宗教を問わず、何の拘束もなく、匿名でも入会できる気軽な会です。■ 結成は2005年12月ですから、今年で16年目になります。■ 会員は南相馬市原町区
◀ 会のシール・デザイン：朝倉悠三さん を中心に391名。年会費は千円です。

2月13日(土)23:07、震度6強の大地震 被害はありませんでしたか

まもなく東日本大震災から10年ですが、再びの大地震（震源福島県沖深さ55キロ、M7.3）に驚かされました。本市でも相馬市や宮城県でも大変な被害です。元気を出しましょう。

地球の歴史は46億年、ウイルスは20億年の生存と推定され、それにくらべ人類の出現は20万年に過ぎません。大自然の中でヒトが生きられてきたことも忘れ、傲慢になったヒトへの逆襲が起こっているのかも知れませんね。（発行日が1月のままで、急いで記事を変更しました!?)



1月22日に国際法として発効 核兵器禁止条約

日本も署名・批准を!

核兵器の開発、実験、生産、保有、使用、威嚇を禁じる「核兵器禁止条約」が、1月22日に発効しました。核兵器が国際法として違法となり、道義的、政治的にも「核廃絶」が世界の常識になりました。

菅義偉首相は「核保有国と非保有国の橋渡しに努めるが、条約に署名する考えはない」と、米国の『核の傘』に依存する硬直した姿勢のままです。唯一の被爆国日本こそ率先して批准すべきではないでしょうか。

『鈴木安蔵を讃える会』会員が80名になりました



「鈴木安蔵を讃える会」会長 志賀勝明

映画『日本の青空』で全国に紹介された、日本国憲法の間接的起草者、小高区出身の憲法学者鈴木安蔵の旧宅を保存し活用するため、「鈴木安蔵を讃える会」を市の教育委員会の協力を得て昨年私たち有志により発足させました。

昨年12月から全国の九条の会などに広く呼びかけて会員を募集したところ、早速市内はじめ全国各地の方々や、憲法学者や大学教授、弁護士さんら約80名から入会の申し込みがあり、大変感激し感謝しております。さらに地元の皆様の申し込みもよろしくお願いいたします。

▲小高区仲町の鈴木安蔵旧宅を案内する「讃える会」会長の志賀勝明さん

○志賀勝明さんは小高区村上の漁師でしたが、震災前から原発反対の活動を行ってきました。大津波で漁船も自宅も被災しますが、全国各地からの約5千人を被災地や鈴木氏旧宅に案内し、空き家になった鈴木氏旧宅の保存を願うようになりました。「はらまち九条の会」の事務局員です。

（入会申込み先・〒9792533相馬市坪田八幡前21 志賀勝明 TEL・FAX0244-26-4645）

○「讃える会」は、『福島民報』2020年12月30日付で、また同紙2021年1月28日付では論説「鈴木安蔵の顕彰活動・小高の活性化につなげよ」と大きく報道されています。

東日本大震災から10年① 震災・原発事故関連の“本”

○福島県浜通りや南相馬市、「はらまち九条の会」の会員さんの著作を中心に、“震災関連の著作約40冊”を選んでみました。(順不同・敬称略・♣は本会会員)

1. 佐野真一『津波と原発』講談社 ¥1500税
2. 朝日新聞特別報道部『プロメテウスの罠1~8』学研 各¥1300
3. 福島県九条の会編『福島は訴える』かもがわ出版 ¥1600税 (会員♣多数が掲載)
4. 太田圭祐『南相馬10日間の救命医療』時事通信社 ¥1400税
5. 柳 美里『JR上野駅公園口』河出書房新社 ¥1400税・河出文庫版 ¥660
6. 井上能行『福島原発22キロ 高野病院奮戦記』東京新聞 ¥1400
7. 福島県立高等学校教職員組合女性部『福島から伝えたいこと』第1・2・3集 各¥500
8. 朝倉悠三♣『震災絵日記』福島民報 ¥1400
9. 齋藤和子♣『詩集 望郷の祈り』花神社 ¥2300税
10. 青田恵子♣詩・短歌・布絵集『小さな窓辺から』・『森の匂いは消えていった』
11. 門田隆将『記者たちは海に向かった 津波と放射能と福島民友新聞』角川書店 ¥1600税
12. 若松丈太郎♣『福島核災棄民』コールサック社 ¥1800税・『詩選集一三〇篇』コールサック社 ¥1500税・若松丈太郎詩・アーサー・ピナード『ひとのあかし』清流出版 ¥1700税
13. 佐藤昌明『飯館を掘る』現代書館 ¥1600税
14. 佐藤政男『原発事故6年目 現地情報から読み解く ふるさと福島』合同フォレスト ¥1600税
15. 日野行介『原発棄民』毎日新聞出版 ¥1400税
16. 二上英朗♣編著・三瓶宝次監修『三瓶町議、奮闘す 浪江町津島の記録』動輪社 ¥2500
17. 『3.11を心に刻んで2020』岩波ブックレットNo.1021 ¥700
18. 中村 晋♣句集『むずかしい平凡』bonekobooks@gmail.com ¥1400税
19. 中村 晋♣・大森直樹『福島から問う教育と命』岩波ブックレットNo.879 ¥560税
20. 東京新聞社会部編『憲法と、生きる』岩波書店 ¥1800税 (会員♣6名が掲載されています)
21. 吉田信雄♣歌集『故郷喪失』現代短歌社 ¥2500・『思郷』現代短歌社 ¥2500
22. 佐藤栄佐久『知事抹殺』平凡社 ¥1600税・『福島原発の真実』平凡社新書 ¥740税
23. 山岡淳一郎『放射能を背負って 南相馬市長桜井勝延♣と市民の選択』朝日新聞出版 ¥1700税
24. 桜井勝延♣・開沼博『闘う市長』徳間書店 ¥1300税
25. 青木美希『地図から消される街』講談社現代新書 ¥920税
26. はる書房編集部『あの日から起こったこと』はる書房 ¥2200税
27. 高橋美加子♣他『語り継ぐ、ふるさと南相馬』1・2 まなびあい南相馬
28. 『東京五輪がもたらす危険』緑風出版 ¥1800税
29. 『かや原 第5号3.11震災特集』(南相馬市鹿島区) 鹿島文化財愛好会
30. 『請戸小学校物語 大平山をこえて』NPO法人団塊のノーブレス・オブリージュ
31. 『3.11ある被災地の記録 浪江町津島地区の』社会福祉法人福島県社会福祉協議会 ¥1000
32. 柴田哲雄『フクシマ・抵抗者たちの近現代史 平田良衛・岩本忠夫・半谷清寿・鈴木安蔵』彩流社 ¥2200税
33. 小出裕章・西尾正道『被ばく列島 放射線医療と原子炉』KADOKAWA ¥800
34. 市澤秀耕・市澤美由紀『山の珈琲屋 飯館「極久里」』言叢社 ¥1600税
35. 広瀬隆『福島原発メルトダウン』朝日新書 ¥740税
36. 吉田千亜『孤塁 双葉郡消防士たちの3・11』岩波書店 ¥1800税
37. 片山夏子『ふくしま原発作業員日誌』朝日新聞出版 ¥1700税
38. 馬場マコト『内心被曝 福島・原町の10年』潮出版社 ¥2500税
39. 松谷彰夫♣『裁かれなかった原発神話 福島第二原発訴訟の記録』かもがわ出版 ¥1800税



デジタルの時代でも文字の本は大事です

目が悪くなって読書も大変です

読書よりツイティ

市販されていない地域の本も貴重です!